

第4次総合計画 施策の評価シート

評価対象年度 令和5年度	大綱 8 行政経営	政策 1 行政資源の効果的活用
めざすまちの姿 限られた財源や人材などの行政資源が有効活用され、新たな行政課題に柔軟に対応しながら、持続可能な行政運営が行われているまち		

<取組内容>

施策		基本計画本文
施策を構成する管理事業		施策の取組状況
8-1-1	効果的・効率的な行政運営の推進	行政評価の取組を強化しながら、その結果を実施計画、予算に反映し、行政課題に効果的・効率的に対応します。また、中核市としての権限の発揮や、「NATS（ナッツ）」など近隣自治体との広域連携に努めます。あわせて、民間活力の導入も含めた業務プロセスの改善によって、簡素で効果的行政組織の構築を図ります。
1	企画政策事業	・行政評価において、施策の推進及び効果的かつ効率的な事業実施に資する評価となるよう、管理事業を構成する予算事業の評価シートの記載内容を充実させて実施した。 ・押印見直し方針に基づき、申請書等の手続に係る押印について、法令に義務付けがあるものなどの例外を除き、原則として廃止するため、全庁的に業務量の削減に努めるとともに、業務量に見合った最適な業務体制の構築を図る中においても、財政の健全性の維持と将来への必要な投資の両立を図りながら、適切な予算を編成することができた。 ・施策指標「公債費比率」については、適切な市債管理を推進することにより目標を達成したものの、「財政調整基金残高の標準財政規模に対する割合」については決算において未達成となった。
2	行財政改革推進事業	
3	財政事務事業	
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
【施策】「施策」の名称を記載しています。		【基本計画本文】施策の主な目的や方向性を記載しています。
1	財産管理事業	
2	資産経営事業	
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
【施策を構成する管理事業】施策を構成する管理事業を記載しています。		【施策の取組状況】 ・評価対象年度に施策の推進のために取り組んだ内容のうち代表的なものを記載しています。 ・評価実施時点で、施策の課題に対応したものがあれば、その旨記載されている場合があります。 ・必要に応じ、次ページに記載している施策の進捗状況の評価についての説明を行います。
8-1-3	人材育成の推進	
1	人事管理事業	
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
8-1-4	ICTの利活用	市民の利便性の向上や行政運営の効率化を図るため、オンラインでの申請・使用料支払いなど、ICTの利活用とデジタルバインド対策を進め、自治体DXの推進を図ります。災害発生時などにおける行政サービスの継続性を確保するとともに、ICT技術のさらなる進展や普及に伴うリスクの複雑化に対応するため、職員への研修をはじめとして、情報セキュリティ管理の強化を図ります。 施策の進捗状況については以下の通りです。 ・年間を通じて市民サービスに影響するようなシステムの障害は発生しませんでした。 ・施策指標「電子化対応済の行政手続におけるオンライン申請件数の割合」の実績値は前年度より下がりましたが、これは手続の電子化を令和5年度末までに進めるとしていたため、令和5年度中に電子化対応済手続が大幅に増加したことが影響したもので、オンライン申請の件数自体は増加しております。今後はオンライン申請利用者数向上のための広報の強化等に努めることで、オンライン申請の普及を進めていきます。 代表的な取組として、次の通りICTの利活用による行政運営の効率化を図りました。 ・業務の多様化や働き方改革に対応し、さらなる業務効率化を図るため、グループウェアの再構築に着手しました。 ・府のデジタル人材シェアリング事業を活用し、専門人材の支援を受け、手続の電子化やBPRの検討を進めました。 また、次の通り市民ニーズを踏まえた市民の利便性向上や、情報セキュリティの強化を図りました。 ・施設予約システムへのキャッシュレス決済機能の追加、公開型GISシステムの構築を行いました。 ・セキュリティ強化のため、行政事務系ネットワークに二要素認証システムを導入しました。 ・専門人材による支援を受け、セキュリティポリシーの改訂を行いました。 その他、第4期情報化推進計画の後継となる「吹田市デジタル政策1.0」の策定作業を実施しました。
1	情報システム運用事業	
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

< 施策指標等の推移 >

8-1-1 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策指標 1		(財政調整基金残高) 【改訂】財政調整基金残高の標準財政規模に対する割合(単位: %)									
年度	策定時 (平成28年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実績	(106.3) 15.2	(122) -	(134) -	(1) -							
進捗状況		A	A								
施策指標 2		公債費比率(単位: %)									
年度	策定時	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
【策定時】 第4次総合計画基本計画改定 時点の数値を記入しています。 【実績】 施策指標の評価対象年度における 実績値を記載しています。											
施策指標 1		一般建築物の個別施設計画の策定が完了した割合(単位: %)									
年度	策定時	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
【進捗状況】 ・実績に基づき、施策の進捗状況を「S」「A」「B」「C」で評価します。 記入にあたっての考え方は以下のとおりです。 S: 目標を大きく達成している、又は目標の達成に向けて計画以上に進んでいる。 A: 目標を達成している、又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる。 B: 目標を達成していない、又は目標の達成に向けた進捗が少し遅れているが、画最終年度には目標を達成する 見込みである。 C: 目標を大きく下回っている、又は目標の達成に向けた進捗が遅れており、取組の強化が必要である ※「一」としている場合は、評価対象年度には調査、把握していないものです。 ※: 空欄の場合、評価対象年度の実績について、現時点で集計中であり判断していないものです。 実績が判明した段階で評価を行い、改めて調書を公開します。											
施策指標 2		【新規追加】電子化対応済みの行政手続におけるオンライン申請件数の割合(単位: %)									
年度	改訂時 (令和4年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実績	18.4					18.4	15.7				
進捗状況						-	C				

SDGs のゴールに関連する施策および施策指標と評価

No	施策指標	1 持続可能な開発のための人	2 持続可能な開発のためのエネルギー	3 持続可能な開発のための気候変動	4 持続可能な開発のための質の高い教育	5 持続可能な開発のためのジェンダー平等	6 持続可能な開発のための清潔な水と衛生	7 持続可能な開発のためのエネルギー	8 持続可能な開発のための経済成長	9 持続可能な開発のための産業、科学、イノベーション	10 持続可能な開発のための公平な社会	11 持続可能な開発のための持続可能な都市と地域	12 持続可能な開発のための持続可能な消費と生産	13 持続可能な開発のための気候変動	14 持続可能な開発のための持続可能な海洋資源	15 持続可能な開発のための持続可能な陸域生態系	16 持続可能な開発のための平和と公正	17 持続可能な開発のためのパートナーシップ
1	(財政調整基金残高) 【改訂】財政調整基金残高の標準財政規模に対する割合(単位: %)	-	/	-	/	-	/	-	-	B	B	B	-	/	/	/	B	B
	公債費比率(単位: %)	-	/	-	/	-	/	-	-	A	A	A	-	/	/	/	A	A
2	一般建築物の個別施設計画の策定が完了した割合(単位: %)	-	/	-	/	-	/	-	-	-	A	-	-	/	/	/	-	A
	【新規追加】公共施設(一般建築物)の改修や建替えをした件数(単位: 件)	-	/	-	/	-	/	-	-	-	B	-	-	/	/	/	-	B
3	職員1人当たりの年間研修受講回数(単位: 回)	-	/	B	/	B	/	B	-	B	B	-	-	/	/	/	B	B
	【新規追加】年間の時間外勤務時間数が360時間以下の職員数の割合(単位: %)	-	/	B	/	B	/	B	-	B	B	-	-	/	/	/	B	B
4	ICTを活用した行政サービスの稼働休止時間(単位: 分)	A	/	-	/	A	/	-	A	A	A	-	A	/	/	/	A	A
	【新規追加】電子化対応済みの行政手続におけるオンライン申請件数の割合(単位: %)	C	/	-	/	C	/	-	C	C	C	-	C	/	/	/	C	C

目標値
(令和10年度)

(100億円)
(改訂)
20%確保

10%以下

100%

130件

7回

100%

0分

30%